

---

アース・ルーフ  
Earth  roof

施工説明書

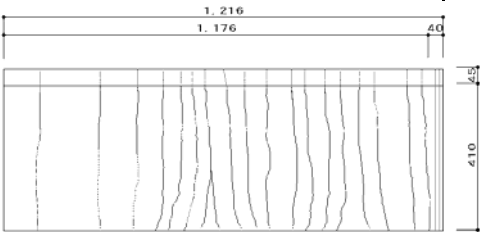
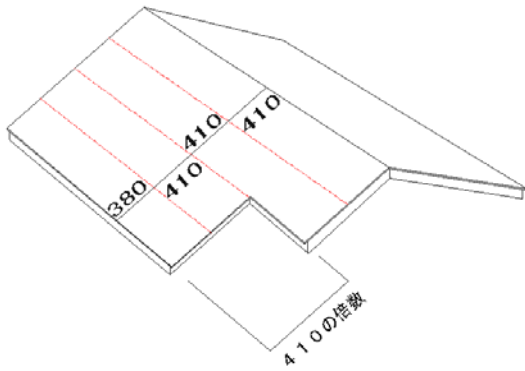
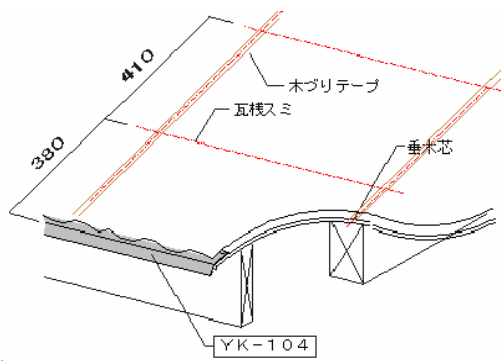
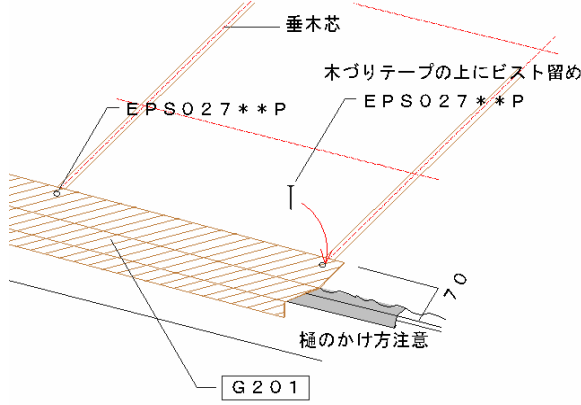
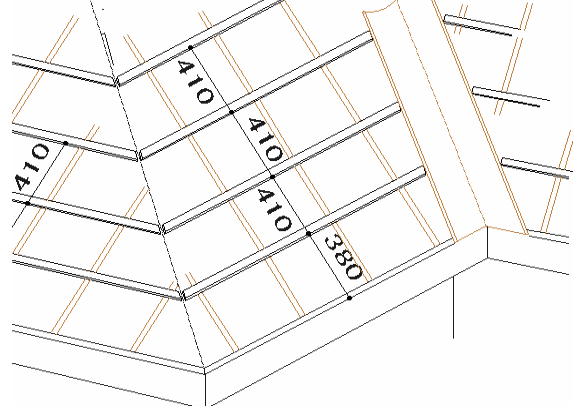
Grain

NO. 4



項目	施工説明	確認	施工図
1、下地確認	① 垂木間隔が500mm以下 ② 9mm以上の耐水合板が使用されているか。 ③ 下地釘の浮き、金具等の突起物は無いか。 ④ 軒先・ケラバ部分の屋根地は真っ直ぐに成っているか。 ⑤ 流れ方向の瓦割りは、瓦で調整は出来ません。		
1、施工	① 製品の上でカットする場合は、養生シートを被せて行ってください。 カットする時に鉄板の屑が出、屑が錆びて、本体に錆を呼びます。 製品のカットは押し切りを使用。		
2、勾配	① 最低勾配は3.0/10以上。		
3、保管	① 必ずリングの上においてください。 ② ダンボールで包んでいますので、雨に当たらないようにしてください。		

項目	施工説明	確認	施工図
軒先水切り	① 軒先水切り（EY-104）の取り付け。 取り付けカラー釘は、現場で用意してください。 防水シートの下に取り付け。	注意	
防水シート	① 軒先水切りを取り付けた後防水シートを貼ってください。 横重ね 300mm 縦重ね 100mm 壁立ち上げ 300mm ③ 隅棟部は交互に一面ずつ張って、隅部には、十分な重ねを取ってください。 ④ 完了後上に流れに沿って、もう一枚貼る。 ⑤ 谷部は、先に1枚谷板の捨てに貼ってください。		

項目	施工説明	確認	施工図
瓦割り	<p>① 瓦寸法</p>  <p>横 1, 190mm 流れ 440mm</p> <p>② 働き寸法</p> <p>横 1, 120mm 流れ 410mm</p> <p>③ m2枚数 2.18枚 坪枚数 7.19枚 m2重量 6.76kg</p> <p>④ 瓦施工時、横は瓦のカットが可能ですが、流れ方向に付いては、カットが出来ませんので、野地板で調整をしてください。</p>	確認	  <p>注意</p>
木づり	<p>① 木づりは必ず、垂木の上に施工し、軒先瓦棧の下から施工してください。</p> <p>② 軒先瓦棧は木づりの上に、コーススレッドで取り付けてください。</p>	確認	
瓦棧	<p>① 瓦棧寸法 25 x 35 x 2, 000 瓦棧は木づりテープの上にコーススレッドで止めてください。</p>	確認	

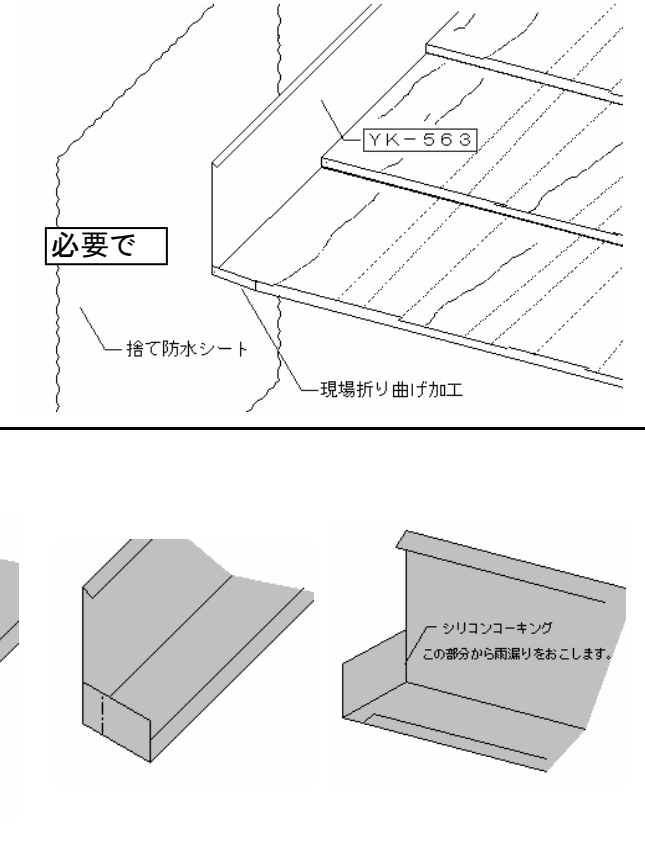
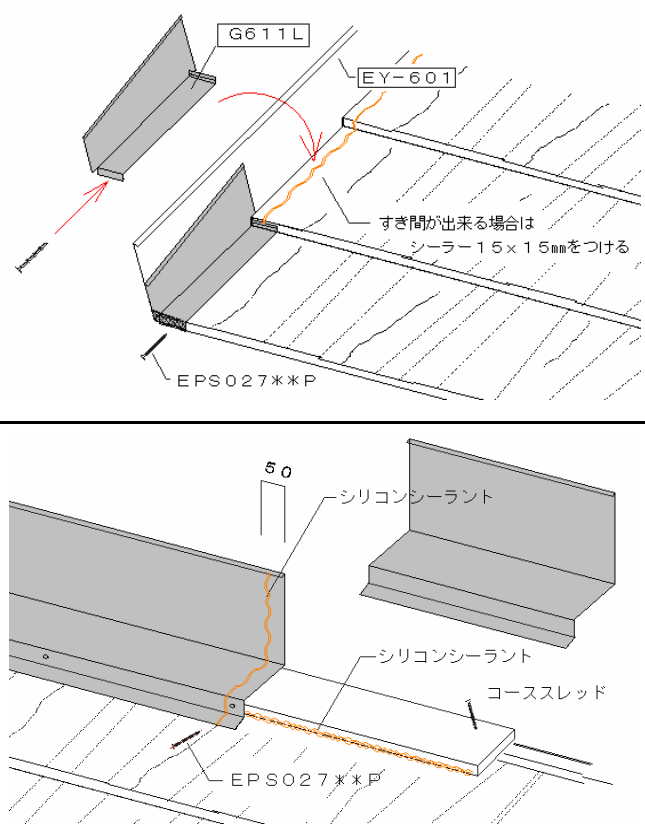
項目	施工説明	確認	施工図
捨て板	<p>① 横捨て板の上に必ず瓦棧を施工しますが、瓦棧の下には木ずりテープを敷いてください。</p> <p>② 流れ捨て板は、状況に応じて軒先まで流してください。その場合は、瓦棧をカットしてください。</p> <p>③ 縦・横の捨て板が交差する場所は変性シリコンシーラントで留めてください。</p> <p>① 雨押さえタテ、ヨコ交差部分は右のように、加工をお願いいたします。</p>		

項目	施工説明	確認	施工図
軒先瓦	① 一段目の瓦を、軒先瓦棧（G201）に、E6925UW-**で留める ② 取り付け順序は内側から外側に取り付けていく。 必ず、下穴を明けて取り付けして下さい。 ③ 軒先瓦施工は、必ず足場からの施工をお願いします。	注意	
平瓦	① 横の重ね場所は70mmです。 しかし、重ねは自由ですが、下段の重ね部分が、上段の瓦の厚い部分で重ねてください。 ② 端部から貼ってきた場合端部でカットしますが、カットした瓦は上段に持ってきてください。 ③ 谷部・隅棟部の瓦は必ず、釘が3本でとめる大ききでカットしてください。 その、場合前の瓦をカットして、合わしますので、カットした瓦はシリコンコーキングを付けて、三角の瓦を取り付けてください。		

項目	施工説明	確認	施工図
ケラバ	<p>① ケラバは、シリコンシーラントを付けた後に、取り付けてください。</p> <p>② 平瓦の厚みが違うので、ケラバを真っ直ぐに取り付けるために、当て木か、糸を張って下さい。</p> <p>取り付けた後下から、流れ方向を見てください。</p> <p>瓦の薄い部分にはシーラー15mmを取り付けて、ケラバを取り付けて下さい。</p> <p>③ 強風地域でケラバ釘が1本で少ないと思えば、変性シリコンシーラントで接着してください。</p>		

項目	施工説明	確認	施工図
棟伏せ	① 笠木 (18x90) をコーススレッドでとめる。その場合笠木幅は棟包みを添えて幅を決めてください。 ② 笠木の上には防水シートを貼ってください。 ③ 棟包みのジョイントは付き合わせになるので、下にEY-401を敷いシリコンシーラントを付けて棟包みを取り付ける。 ④ 棟包みは板金ビス (EPS027* *P) を330mm間隔で留める。		
廻り棟	① 廻り棟谷 (EY-486) を瓦棧の間に取り付ける。 ② 瓦棧端部は木ズリを2~3重に重ねて、瓦棧を5mm位うかす。 ③ 廻り棟は必ず3本のビスで留めて下さい。 ④ 谷板の折り返しをつぶさないで下さい。雨が入った場合雨漏りをおこす危険があります。 ⑤ 廻り棟の接合はカシメだけなので、取り付け時の風等を気をつけて下さい。		



項目	施工説明	確認	施工図
壁水切り タテ	<p>① 捨て防水シートを工務店で施工してもらってください。</p> <p>② 捨て板YK-565の取り付け。</p> <p>③ 軒先部は現場で右図加工をしてください。</p>		
ヨコ	<p>① 笠木 (18x90) をコーススレッドで留める。 この場合、雨押さえを添えて位置を決める。</p> <p>② シリコンシーラントを取り付けた後にG601を取り付ける。</p> <p>③ シリコンコーキングは平瓦重ね内部にもつけること。</p> <p>④ EPS027**Pで留める。 この場合、雨押さえを添えて位置を決める。</p> <p>⑤ 雨押さえの接合部はシリコンコーキングを打ってとめる。 SFLCB25のコーススレッドでとめる。</p>		

新規作成

20110901

改定年月日 20120702

改定年月日

改定年月日